

保育所サービス評価結果記入様式

【自己評価の実施にあたって】

- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。
- 認定こども園が評価を行うにあたっては、各項目の「保育所」を「認定こども園」と読み替えてください。

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	保育園のしおりにて理念・基本方針が文章で明確に示され、ホームページでも確認できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。
	毎月、月はじめの「衆会」にて園児と職員参加で保育の内容や特性を踏まえた理念や基本方針を改めて共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
	月1回の職員会議にて職員への周知が定期的に図られるとともに、入園前の説明会、進級入園懇談会等にて丁寧に情報を提供し、保護者に向けても周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
	毎月の「衆会」や「報恩」(法人発行の広報誌)にて、仏教教育にまつわるお話を記載している。例：2月の徳目「禅定静寂～よく考え、落ち着いた暮らし～」		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
	定期的に理念や基本方針が周知徹底され、日々の保育に活かされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	日本保育協議会滋賀県支部等からの研修に参加し、園内で情報共有・分析など行っています。市からの地域状況の情報、保育ニーズや関連制度の動向を把握し関係機関との情報交換も密に行われており、理事会にて事業の進捗を随時報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	日々理事長と園長で課題等を共有し、必要に応じ理事会にて議論、指導を受けており、理事会の議事録に記載している。今回臨時で「こども誰でも通園制度」について評議委員会でも承認を得ている。3月(年度末)の職員会議にて周知し、日々の業務や会議での経営状況の確認と対策が継続的に行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
	税理士に相談しながら経営を進めており、第三者を入れることで、透明かつ合理的な経営がなされている。問題点があればすぐに相談できるシステムが有り、問題解決に向けた迅速な対応が可能となっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
<p>仏教保育でもあり、理念や基本方針など、こどもの教育に関わる点については変えていくことはないが、時代に合わせて柔軟に考え対応している。基本方針1の健康な身体づくりに関して、看護師にも参画してもらい、病児保育も立ち上げてきた。上記のことを、入園など保護者への説明を行う際に、中長期的な計画として示している。</p> <p>経営の安定と保育の質の担保のため、本園は0歳児の入園が少ないため、今後の検討課題にする等、出てきた課題を理事会で議論し、経営組織の強化に向けてしっかり取り組んでいる。これらの運営が計画的に進められており、ビジョン実現に向けた具体的な取り組みが行われている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
<p>「事業計画書」「年間行事等実施計画」にて詳細に記載し、法人監査や理事会等において十分に審議され、承認を得ている。単年度の計画は長期的な目標に基づいており、計画的な事業経営が実現されている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
<p>職員会議や日々の業務の振り返り等で意見を集約し、日常的に反映されるよう努めており、定例理事会(年4回)の中で、園長より園の運営の進捗状況を報告し、評価見直しが組織的に行われている。理事会・評議委員会でも事業報告をもとに丁寧に事業計画の見直しを行っている。職員会議にて共有し、PCでも閲覧可能となっている他、個人ファイルを用意し、都度綴じて見られるようになっていて、計画内容が職員全体に周知され、理解されている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
<p>進級懇談会にて周知している。年度末3月には次年度の大きな行事をホームページにて掲載し、保護者が事業計画にアクセスできるようになっており、理解を促す取り組みが行われている。園だよりでも二ヶ月前にはわかるようにお知らせしている。園だよりや保健だよりはイラスト等を使い、より理解しやすく見やすい工夫をしている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
10-12月頃に行われる園長との面談前に、全職員が各自自己評価チェックシートに記入している。2月までに集計し、自己評価委員会で議論している。チェックがつきづらかった箇所については、次年度の研修計画に盛り込むなどし、保育の質の向上に向けて組織的にバックアップする仕組みができています。「園児管理システム」を導入し、日々保育内容について記録し、それを職員がチェックできるようになっている。「今日のたまのうらっこ」(ホームページ上)でも公開し、それも職員間で閲覧できる。保育の相互チェック体制が構築され機能している。			<input type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
エ: 理事会など			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
自己評価委員会での議論を記録にし、次年度の研修計画に活かしている。また保健衛生に関することについても細かに課題を共有し、改善している。日頃の確認事項等は、「園児管理システム」内の「備忘録」にて全職員が閲覧し、課題を共有、改善している。保護者からの質問についても、職員の対応の方法について記録に残し、それが閲覧でき、全職員が同じ対応ができるようにしている。月に1回の職員会議でも共有し、改善、見直しをし記録に残している。園の行事前に昨年度の反省を踏まえ改善している。全てにおいて改善課題を明確化し、職員全体で共有されたうえで計画的な改善策が迅速に実行されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
「しおり」にて保育所の経営・管理に関する方針と取り組みを明確にしている。園長の「報恩」に園長の想いを掲載している。組織図や職務分担表で施設長の役割を明文化している。緊急時にも機能する組織体制が確立されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
滋賀県保育協議会の研修や日本保育協議会の研修、仏教園に関連し、坊守研修等に積極的に参加することで、情報や専門的知識を学ぶ機会を得ている。園の前に大規模商業施設があり、配達車の駐車に注意喚起をお伝えしたり、雪の日は駐車場や門扉などの整備をして園児の安全を環境面から守っている。人権に配慮して、法令や最新の情報を常にアップデートし、職員に伝えている。身だしなみに配慮するよう職員に周知する記録が職員会議議事録より確認している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
自己評価委員会に園長も参加し、保育の質の向上に向け積極的に指導力を発揮している。個別面談以外でも随時、直接対応し各職員の気付きや成長を促すために指導している。保護者の対応も、主任と連携し職員の性格等もふまえ、フォローしながら対応している。研修体制や、自己評価委員会、職員会議へも積極的に参画している。毎年度研修計画年間計画を立て、実施している。自己評価委員会の結果を研修内容に活かしている。保育の質の向上に向けた取り組みが継続的に行われ、職員の成長を施設長が見守りサポートしていく仕組みが整っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実に図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
経理規程で施設長が会計責任者となっている。理事長とも逐一現状を分析している。職員の働きやすい環境整備として、休憩を1時間しっかりとる等、休憩時間の完全取得の体制を整備し、当たり前の事が確実に実現できるようにしている。人員配置については、職員の面談も踏まえ、士気を高めるために希望をきくように努力している。職員間での情報共有と連携、職員に合わせていく気持ちを大切に、主任・副主任と日頃から密に協議している。保護者の気持ちを職員に代弁することも大事にしている。理事会にて、園運営のために必要な事項を説明し、承認を得られるよう努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
滋賀県保育協議会の「新任保育者研修」等、その他の研修機関に参加し学んでいる。求人に関して養成校やハローワークにも複数求人案内を持参している。人材確保は計画に基づいて行われており、看護師も入職している。就職説明会にも参加し人材確保だけではなく、定着に向けての取り組みも進めており、職員が長期的に働きやすい環境づくりに努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
「保育のしおり」1ページの「保育の理念」に明記されている。就業規則、賃金規則の規定も明記されており、PCでいつでも確認できる。質問があれば、直接理事長に質問できる関係性が構築されている。法人独自の人事評価表に基づいて、評価を行い、処遇に活かしている。(意欲、能力等さまざまな観点から評価)自己評価アンケートの最後のページに、今後どうしたいかなど自分の言葉で記述する欄もあり、面談に活かすことで個人の士気をアップし、振り返りになる。また、キャリアアップ研修を組織として把握し、タイミングよく職員に勧める等、職員の育成に向けた取り組みが着実に進んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	☑	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
職務分掌表にて明確化されている。 「有給管理簿」にて有給消化の管理を行いワークライフバランスを推進している。 職員の体調を日々綿密に共有しながら、欠員がある場合はその都度園の運営になるべく影響が出ないよう勤務体制を組みなおしている。 民間共済会と互助会、園独自でがん検診への補助をする等職員の心身の健康と安全確保に努めている。 職員の家族構成などにも配慮しながら、職員間で声を掛け合いながら、お互い様の意識で休めるように配慮し風通しの良い職場になっている。18時以降は、30分刻みで超過勤務手当が出るように組織対応している。			☑	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			☑	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			☑	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			☑	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			☑	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			☑	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	☑	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標を設定されている。
「保育内容等の職員自己評価」のためのチェックリストを活用している。面談を年2回おこない進捗状況を確認しながら個々の成長を促す体制も整っている。			☑	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			☑	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			☑	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	☑	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
組織として期待する職員像を明確にし目標設定を支援している。運営規定に必要なとされる専門技術や専門資格を明記している。研修計画にもとづき教育研修が実施され、研修復命などで全職員に周知。前年度から見直して新しい計画を作成し、都度必要が生じれば見直している。			☑	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			☑	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			☑	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	☑	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
資格証の写しを保管し個々の職員の専門資格を把握している。習熟度に応じた研修計画があり、研修計画にもとづいて研修機会が確保されている。勤務の調整等職員が積極的に研修に参加できるように配慮されている。			☑	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			☑	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			☑	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	☑	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
マニュアルを整備して、実習生の受け入れの基本体制を明文化している。実習が始まる前に、職員会議にて全職員で実施要領や身だしなみ、対応等共有している。学校とも連携して実習プログラムを整備し、丁寧な育成体制が整っている。			☑	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			☑	エ 指導者に対する研修を実施している。

		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。
--	--	-------------------------------------	---	--

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
苦情・相談の体制は、第三者委員を設置し、連絡先等掲示している。園にいただいたご意見や注意喚起等はホームページに掲載し、解決まで迅速に対応している。園の理念や基本方針等を地域に向けて発信することはもちろん、苦情解決体制についても積極的に情報提供し、園の運営の透明性確保に努めている。			<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
事務に関しては、管理日誌に記載し周知している。経理、取引などに関わるものとして、例えば備品を買う際は稟議書を提出し、購入する等ルールは周知徹底している。園独自に税理士、理事会内の税理士(監事)、評議委員会内の税理士に相談する体制がある。長期的な視点での法人運営のために改善している。(定員変更や新規事業創設など)定期的な内部監査や外部専門家の活用により適正な経営運営が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
全体計画内に地域の子育て支援について明記している。子育て支援活動「たまっこ」を実施し、地域と交流している。玄関の靴箱の上にパンフレットなどの情報を設置している。民生委員とともに全戸訪問活動をしており、地域の方に来ていただいた防犯教室を実施している。また、ホームカミングデーという、卒園児との交流も実施している。園児の地域社会への関心を育み、社会性を養っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
ボランティア受け入れマニュアルを策定し、受け入れに関する基本姿勢を明確にしている。園児と交流していただく観点から開始前には履歴書も提出していただいている。全体計画の「小学校との連携」の欄に明記し、保幼小連絡協議会への参加等、学校教育への協力を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
「危険予防マニュアル」には、病院等の連絡先等明示されている。年四回「瀬田エリア子育てネットワーク会議」に参加して情報の共有化が図られている。昨年度のテーマ「父親の子育て参画」について各園でグループ討議をし、アフターケアに務められるように日頃から取り組んでいる。当該関係機関と毎月連絡を取り合っ地域社会資源を把握し、個別ケースに応じて必要な支援に適切につなげている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
「たまっこ」の活動を通して専門性を発揮しているが、講演会や研修会の開催はしていない。「たまっこ」の活動に妊婦も参加可能で見通しを立てて地域で子育てをすることができる。水害危険地域に該当していることを把握し、BCPで役割を確認している。子どもの避難を最優先に考え、「瀬田子育てネットワーク会議」等で多様な機関と連携。全戸訪問も実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
「瀬田エリア子育てネットワーク会議」等で具体的な福祉ニーズの把握に努め、把握したニーズに基づき、瀬田すこやか相談所管轄内の多様な関係機関との協議を実施している。「たまっこ」の活動で地域住民と看護師、保育士と交流してもらうなかで、地域の多様な相談事を聞いている。把握したニーズに基づいた専門的な活動を全体計画にて明示しており、全戸訪問も実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	園の保育マニュアルにて「望ましい保育士としての資質や態度」の項目に規定されている。人権に関する研修を定期的に行い、子どもの権利条約や保育所保育指針の理念を遵守している。人権擁護のためのセルフチェックリスト(全国保育士会)にて全職員がチェックし振り返りを行っている。日々園児との対話を大切にしている保育の様子が、保護者用掲示板「今日のたまのうらっこ」でも確認できている。園の保育マニュアルに「男女共同参画社会に向けて」という項目があり、性差への先入観を持たない取り組みが行われている。しおりの中で、保育理念として人権を第一に大切にすることが明示されており、説明会や懇談などでも周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	園の保育マニュアル「プライバシーの尊重と保護」の欄に記載されている。日々改訂なども生じてくるので、見直しもその都度行っている。園の保育マニュアルに「虐待について」の項目もあり、通報先や対応法などわかりやすく明示してある。年間計画にて研修も実施され、参加した職員の復命書を回覧し周知している。着替えの際、別室を用意し子どものプライバシーを守る環境を整備している。個々の状況に応じて、職員トイレを使うなど柔軟に対応している。「園のしおり」にて、保育の基本方針の項目でプライバシー保護について明示している。また、看護師より性教育を実施し、ホームページ上で報告している。看護師の保健活動の中でプライベートゾーンについても教育している。「虐待の防止及び発生時の対応等に関するマニュアル」内に、「保育所等における虐待について」の規定があり遵守されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
	保育所の理念や保育内容等をまとめたわかりやすい資料を作成し、ホームページ等で情報提供している。見学申し込みや相談もWEB上でできる。保護者の状況に応じて土曜日にも受け入れている。ホームページも随時見直し改善している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育の開始や内容変更の際には保護者の意向を十分に確認し、わかりやすい資料や会話を通して丁寧に説明している。父親と一緒に見学したいご夫婦などは、父親の休みの都合に合わせて、個々の意向を伺っている。園のしおり、パワーポイント資料(写真)を印刷しファイルに綴じ、見せながら説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園先に保育要録を送付し子どもの育ちや学びが途切れることがないように、保育の継続性に配慮している。保育終了後も何かあれば園長がその都度相談のっており、「ホームカミングデー」(卒園児対象の同窓会)も行っている。「ホームカミングデー」の中で、相談を話しやすいように雰囲気づくりに配慮している。ホームカミングデーの実施要項は夏休みが始まる時期にメールで送信し周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	行事ごとにアンケートを行い子どもの満足度を把握するように努めている。メールや紙の用紙記入を保護者の希望で分けている。進級時クラス懇談、個別懇談(年1回学年によって時期は変わる)を行っている。進級時クラス懇談会に、主任と園長が参加し、希望等を聴取している。行事ごとのアンケートを分析する協議を園長主任担当者で行い、会議後職員会議で共有している。園児管理システムに入力し、担当者が参考にしながら次年度の計画に活かしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員を設置し苦情解決の仕組みが確立している。「園のしおり」に第三者委員について設置の記載があり、玄関に連絡先も掲示している。園のメールアドレスも公開しており、匿名性を担保した情報提供も可能となっている。主任や園長が相談窓口として直接対応しており、話しやすい雰囲気づくりに配慮している。意見・要望・苦情等は迅速かつ適切に対応され、苦情等は園の児管理システムの「意見・要望・苦情解決」に記入し、今後の保育の質の向上に活かしている。		<input type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	複数の相談窓口や方法があり、保護者に周知している。2階に子育て支援室・3階に相談室を確保している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。

36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	保護者からの相談や意見は、担当者だけで抱え込まず、速やかに園内で共有し組織として対応する体制が整っている。定期的にアンケートを実施し、保護者からの意見を把握するように努めている。相談等があった場合には、他の目を気にせず話せるように、静かな環境で話ができるように配慮し、傾聴に努めている。苦情はそのままにせず、保護者へ進捗を伝え、丁寧に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	事故発生防止マニュアル・事故発生対応マニュアル・安全計画が非常災害対策計画書に記載されている。職務分掌で役割や責任が明確になっている。安全委員会が設置され、主任保育士と園長が責任者になっている。散歩コースは宮ノ下公園まで大きな道路を渡らずに行ける。予め日を決めておいて、保護者にも時間を伝え実施、突然は行かない。4.5歳児は第六公園や唐橋公園まで行くこともある事故防止は事故発生時の対応マニュアルにフローチャート、要請手順があり、安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。園内では、ヒヤリハットから考察した事例を会議の中で検討する機会があり、発生要因や改善策を常に検討している。瀬田中学校や警察からも不審者情報は送られてくるシステムが構築されており、送られてきた情報はHPで公開し、職員・保護者間で周知している。ヒヤリハットは職員会議で確認し再発防止に取り組んでいる。児童の事故記録は「園児事故記録」があり閲覧できるようにしている。安全に関する学習会は、「『保育内容等の職員自己評価』のためのチェックリスト」の結果をもとに、常に安全確保・事故防止に努めている。安全委員会の方で定期的に見直しを実施。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症対策について、基本的には看護師が中心となり取り組みを行っている。感染対応策のマニュアルも整備されている。職務分掌票の中に保健衛生の担当部署があり、看護師が明記されている。園内研修で看護師が下痢嘔吐処理・AEDに関する勉強会を実施している。予防しきれない感染症が発生した場合には、迅速かつ適切な対応が取られている。目の感染をカラーで示してある等マニュアルも大変わかりやすい。感染対応策マニュアル等定期的に見直しされ、保護者への情報提供が随時行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	業務継続計画やBCPに災害時の対応体制の記載がある。園長不在時は主任が代行すると明記されている。職員の安否確認の項目もありグループラインで確認できる。緊急連絡先は園長が把握している。備蓄品一覧リストがあり管理者を決めて整備している。避難訓練を毎月実施し、そのうち何度かは隣の天津製函と協働して避難訓練を実施している。避難訓練は火災、地震、不審者、水害の種類別に訓練を実施している。非常災害対策計画書等は職員もいつでも閲覧でき周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	しおりや業務マニュアルに記載されている「理念に基づく基本方針」に、子どもの権利擁護に関わる姿勢について明記されている。園内研修にて標準的な保育の実施方法について勉強会があり、4月はフリートーク、夏にはオンラインを用いて個別に研修を実施し、その後に検討会で振り返りを行っている。年4回ほどの園内研修や外部研修もあり、それらの取り組みにより保育の質が確保されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
	子どもたちの興味・関心に基づいた保育がなされており、個々の子どもや保護者の状況に応じ柔軟な保育が提供できるように努められ、画一的な保育にはなっていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	標準的な保育の実施にあたり、園児管理システムの日誌内容を職員会議等で意見交換しながら、定期的にその有効性や課題を検証し、見直しを行う仕組みが確立している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
	基本的に年齢で立案しており、日案・週案・月案を立て、日々の保育を園児管理システムの中に記録している。保護者とは個別面談で意見や提案を聞き、保護者と協働しながら重点目標を立てている。その他の要望で、運動の外部講師に来園してもらったこともある。保護者からの依頼に柔軟に対応していく仕組みがある。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画策定の責任者は主任が担当している。園児管理システムにケア記録としてケア経過記録を残している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
	アセスメントに関することは、把握した時に随時記録している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
	なにか変化があった時入力するが、職員が気付いた発達の様子もその都度入力している		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
	保育所等訪問支援利用者や児童発達支援を利用している児童に関しては年2回共有会議を持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
	東部療育センター、民間の療育等の支援機関と連携。保護者の思いに寄り添えるよう尽力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
	保育過程に基づく指導計画は、ケア記録でも確認でき、計画書に基づき、順応して年間個別支援計画を作成し対応している。幼保支援課、子ども発達相談センター、子ども子育て安心課(ここあん)と連携し、子どもの健全な育ちに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
	ホームページや玄関掲示で対応しきれない場合は、個別にメモで渡す等、わかりやすい方法で対応している。			

43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画の見直しは年度末と時期が定められており、保育過程や保育のねらいを見直し、新年度に向けて担当保育士が策定している。策定した指導計画は実施状況を定期的に見直している。年間指導計画は立案するが、子どもの育ちや変化に応じて柔軟に、週日案で変更できるようになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合は仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	園児管理システムを利用することで統一できている。マニュアルに記録方法が掲載され「記録のポイント」を周知している。入職時や、マニュアルの見直し時に都度周知している。「今日のたまのうらっこ」で必要な情報が届く仕組みが整備されている。職員会議は基本的には月1回の開催ではあるが、園児管理システムの管理日誌ページ「職員会議・QC活動・OJT」欄における職員会議は、状況に応じて柔軟に開催。管理日誌ページを確認、情報共有欄を閲覧すると確認出来る。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報に関する基本方針は、個人情報保護規程に基づきルールを厳格に定めています。個人情報に関する基本方針の中で、こどもの相談窓口は主任保育士と明記されている。児童票等の破棄するまでの期限は設けていないが、書類関係は全て残してある。監査で見てもらうような書類は5年間保管が多いが、今のところは無期になっている。苦情責任者は園長、窓口は主任保育士となっている。「保育園改善のための仕組み」に記録や個人情報保護の観点から職員教育や研修を行うことが掲載されている。自己評価のまとめの部分にも、個人情報保護規程等を理解し遵守している項目がある。基本方針や理念にて保護者に個人情報の取扱について説明できている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画(保育課程)の編成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画(保育課程)を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	全体的な計画は児童憲章や保育所保育指針や条約等に基づいて作成。年1回職員に周知し見直しをして、再検討変更等もやっている。外部の評価委員はないが、大津市の施設監査等、外部の客観的な評価を受けは正している。長時間保育を行っており、地域の保護者、小学校の保護者への支援を実施している。食育に関しては調理場と連携をとっており、残食調査も行っている。「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理計画用の記録簿」も確認。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
	全体的な計画の評価は年に1回、必要に応じて義務化されたこと等を追記したり、定期的な評価と見直しを全職員参画のもと行いながら、計画の質の向上に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。

IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	管理日誌の保育日誌の欄に室内温度等を記録する欄があり、各保育室の担任保育士が記録している。クラス担任以外の職員もその都度気付けて換気する等、常に適切な状態に保たれている。各保育室に空間殺菌機、夜間には害虫駆除機を設置しており常に適切な状態が保持できている。昼寝用のベッド(月1540円のリースコット)を設置しており、汚れた際は一旦持ち帰り洗濯して業者に返却、すぐに新しいものを搬入されるため清潔が保持されている。説明会や園見学で説明し全園児に使用されている。看護師が中心になり、道具の殺菌等は徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
	自己評価で振り返りを実施、「動線を考えて遊具や道具を配慮している」という項目で確認出来ている。4～5歳は可動式のロッカーになっており、活動によって動かすことが出来るようになってきている。4～5月は新しい環境(保育室等)への定着を目的に、ホールを可動式ロッカーで区切り、慣れてくると合同で活動する等快適な生活空間確保のために工夫されている。園児の発育の姿や興味関心に応じて使用する用具を流用する等、安心できるような環境を設定している。マンツーマン対応が必要な状況の時は応援体制が整っている。食事と睡眠のエリアが分かれているため、心地よい生活空間となっている。早朝に業者に入ってもらい常に水回りの清潔維持に努めている。カーペットはダスキン、清潔区域と汚染区域を分けている。洗剤は手の届かない所に設置、ふき取るものはペーパータオルでディスポのものを使用し清潔が保持されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	ケア記録で日々の変化をとらえて周知している。自己チェックシートの集計は特に多い項目を☆や○印にして可視化し、保育に活かしている。言葉になっていないが、喋りたい気持ちがあると見える児童にはケア記録を入力し、個人の重点目標にピックアップ。それに対しての配慮等を指導する等、発達過程や家庭環境、一人ひとりの個性を尊重した保育ができています。「『保育内容等の職員自己評価』のためのチェックリスト」にも個々の状態に応じたきめ細かな関わりができていますかチェックする項目があり、振り返りながら保育ができています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	せかさず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	新しいものへの受け入れ状況は児童の反応を見て状況に応じて対応している。食事や排泄、睡眠着脱清潔等生活習慣は多岐にわたり、個々の発達に合わせて、日々の様子を見ながら主体性を尊重した取り組みがなされている。5歳児は後半徐々に昼寝をなくすように、臨機応変に対応している。看護師主導で、こどもが分かるように保健指導されており、基本的な生活習慣を身につける大切さが継続的に伝えられ、環境の整備もできている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。

	判断した理由・特記事項等	☑	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。	
	<p>園庭の広さが限られているため、事故防止の観点から、学年に応じて園庭の使用時間が基本的に決められている。しかし、その時の子どもたちの気持ちや遊びの状況等に応じて、遊びの時間を延長する場合もあるという認識に変更し、ある程度のルールは必要としたうえで、子どもの様子を見ながら自発性を尊重し保育に当たっている。できたことや自分でできたことへの喜びを感じられるように支援している。園庭以外に、屋上にも体を動かせる場所を設け、戸外遊びの場所についての選択肢を増やすなど工夫している。</p> <p>保育参観の時に親子活動として創作活動を行い、きらきら劇場に保護者と一緒に行った創作物を使用する等、友だちと協同して作り上げる喜びを体験する保育ができています。延長保育の時間は異年齢の合同保育を行うため、社会的ルールを育むことが自然と出来てきている。</p> <p>散歩等の園外活動を取り入れている。防犯教室でのスクールガードとの顔合わせや、近隣の店に買い物に行くことで地域とのかかわりを実践している。年に1回は、交通ルールを学ぶカンガルー教室として自治協働課の来園あり、警察官は防犯教室にも来園、身を守る方法を教えてもらっている。</p>	☑	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。	
		☑	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。	
		☑	オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。	
		☑	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。	
		☑	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。	
		☑	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。	
		☑	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。	
		☑	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	
51	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。	
	<p>指導計画に明示している。0歳児は個人に応じて対応を柔軟させている。配置基準は3対1ではあるが、応援体制を組んだり看護師が入ったりと都度最適な体制を整えている。0歳児の特徴をしっかりとらえて対応している。言葉が出ない年齢であるため、細かな観察を重視している。避難用抱っこベルトも設置し非常事態の安全確保に努めている。今年度から乳幼児用連絡帳を導入し利用することで、今まで以上に家庭の様子がわかり、より丁寧な関わりができています。</p>	☑	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。	
		☑	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。	
		☑	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。	
		☑	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	
52	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教 ⑥ 育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。	
	<p>1.2歳児の自分でやりたい気持ちを受け止め、自我の育ちを大切に関わっている。玩具も選べるように複数準備し、見守りの中遊べるようにしている。探索活動を支える環境づくりに関してもオンラインで探してきた研修を受け、“子どもの困った行動”を、“興味があるからこそその行動”であると捉え、それを遊びに転換するなど、子どもの姿を前向きに捉えて保育を展開できるような考え方を心掛けている。</p> <p>大人が使うものを好む児童には、その子の興味に応じたものを提供し個々の違いを尊重して関わっている。階段を使って上がる機会もあり、上の学年の子との関わりや、ボランティアや職場体験の学生等との関わりも持つことができています。厨房の職員とも関わりを持つ機会を作っている。</p> <p>厨房に直接もらいに行ったり、収穫した野菜を厨房に持って行く等の関わりを持っている。登降園時も保育室まで保護者が入り、保護者同士の関わりができる環境も作っている。様々な年齢の子どもや大人との関わりも経験できるように配慮している。</p>	☑	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。	
		☑	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。	
		☑	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。	
		☑	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。	
	☑	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。		
53	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に ⑦ 展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	
	<p>3歳でフロアが変わるため環境の変化はあるが、安心して過ごせる様に配慮している。生活面はグループでしっかり見ようという方針で保育している。発達特性を踏まえ子どもの主体性を尊重しつつ、就学に向けた取り組みも計画的に行っている。</p>	☑	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	
		☑	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	

54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	三階建であるがエレベーターはなく、基本的には段差の少ない構造になっているが、バリアフリーではない。多目的トイレは整備されているが、2・3階のトイレは車椅子で利用できる様式にはなっていない。障がいに応じた建物設計ではないが、保育計画は障がいのある子どもの状況に応じた個別の指導計画が作成されている。障害児保育の項目も設定されている。要配慮家庭への対応、突発的な動きに対応できるように、睡眠障害のある児童には昼寝の時間に光を遮る等して、環境の工夫で対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
	市から作業療法士等専門職の来園あり、年2回園内健診あり、日常の着替えの時に児童の身体状況を確認している。歯科検診あり、歯科医が来園し未検診の児童も検診している。障害児保育の研修は確保されているが、機会が少なかつたので、今年度は研修計画に盛り込んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
	保護者の方から自分の子どもの特性について他の保護者に伝えたいと希望され、情報をお伝えしたこともある。確定診断が出ていない児童への配慮や周知に関しては、適正な指導が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	見通しを持った中で、長時間保育の実践を行っている。7:00～19:00利用の児童もいたが、家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごすことができるように、環境面や関わりで配慮している。児童自身がリラックスして過ごすことが出来ている。長時間保育の時は年齢混同で過ごしているが、異年齢の子ども同士が穏やかに関わられるように工夫し、水分補給等で健康維持のことを考え対応できている。園児管理システムの中の「保護者備忘録」に、こどもの様子や保護者からの伝達事項を周知できるようにしている(色分けして分かりやすくして見てわかるような体制にしている)。細かいことはホワイトボードを見て対応し、保育士同士の引き継ぎも適切に行なっている。各階それぞれに保育士はいるが、基本的には担任が部屋にいられるような体制にしている。出会える回数が少ない保護者に関しては、状況に応じて面談を実施するなどの工夫をしている		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
	水分補給や、低血糖等の症状に関しては対応しており、活動と休息のバランスにも配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	3～6つの小学校に分かれて進学するために、就学時健診に同行する等の対応は各家庭に任せている。月刊誌等で小学校の様子を確認し、見立てを持つ機会を設けており、保護者からの相談には丁寧に対応している。ホームカミングデーでは、就学した元園児が訪れ交流する機会が確保されている。保護者説明会でも情報を提供しているが、日常的に就学後の見通しが持てるような情報提供は行っている。保幼小連絡協議会で連携出来ており、要録の作成も適切になされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	体調悪化や怪我の際には保護者に連絡し、受診後の経過も確認をしている。身体測定の結果が見られるように、生育・健康履歴で予防接種や身体継続結果がグラフ化されて、いつでも見られるようになっている。保健計画や備忘録で、保健に関する計画や、その日の子どもの健康状態に関する情報が周知されている。子どもの健康に関わる必要な情報は、保護者から医師の指示書と連絡票等で伝達いただき速やかに全職員が周知している。全て指示書に基づいて行動する体制が構築されている。保健日より保育所の子ども健康に関する方針や取り組みが伝えられ、乳幼児突然死症候群に関する情報提供もなされている。SIDSは11月が強化月間のため、特にその時期に知識の周知を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。

58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	園児管理システムに入っており、いつでも確認できる。体重増加児童に対し、看護師が資料を渡して面談を行い、身体を動かすようになってきている等、計画的な関わりの基児童の健康増進に役立っている。保護者にも結果を伝え、協働で児童に関わっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー疾患や慢性疾患のある子どもに対して医師の指示書に基づき、適切な食事提供がなされている。国のガイドラインに基づいて「保育所におけるアレルギー疾患生活指導表」を作成している。生活管理指導票に記載、介助をするポイントも全職員が周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
	除去食は「代替食、代替食の原材料」も明記し保護者にも知らせている。除去食児専用の食器は色を変えて誤配を防ぐ等、環境等十分に配慮した上で、児童の様子を見ながら関わっている。違いを楽しむ様子や、なぜ違うのかという質問にも理由をわかり易く丁寧に伝えることで対応できている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
	今年度除去食対応が多い保育士が、自ら申し出て研修を受ける機会を設けており、学んだ内容は復命書で周知され、職員会議等で申し伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
	保育園のしおりの11ページ、その他のお願欄にこども同士のやり取りでのリスクについても明記し、注意喚起している。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食に関する豊かな経験ができるよう、保育計画に食育についても掲載している。給食だよりには季節に応じて、風邪に強くなる食事や、親子で楽しめるレシピを掲載したり、アンケート結果等も載せている。献立を毎日玄関の掲示板に提示し、ホームページにも載せている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
	自己評価にも食事に関する項目があり、食事の環境設定もOTに見てもらっている。足台を固定し、足底が床につくように環境設定している。0歳児の哺乳瓶も食器扱い、離乳食の児童も徐々にスプーン等の食器を変更して、記録に残している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
	担任保育士が熟知できており、0歳児後半から自分で食べられるように見守りながら楽しんで食事ができるように配慮している。食育の計画があり、食べられるような声掛け関わりを実施している。野菜を作って調理場に持って行くことや、ピザ作り等の調理、苗を買うなど買い物先でも食育に繋がっている。特別保育期間は年度初め、年末年始、盆の年3回、他天候の事情がある時は弁当持参して対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	離乳食会議や給食会議では、管理栄養士、店長(外部委託業者の栄養士)、園長、主任保育士、学年代表保育士等が出席し話し合い連携を取っている。その日の体調でお腹が緩いから牛乳を止めておこうなどの対応もされている。衛生管理計画用の記録簿の中に、残食調査票や温度記録、残留塩素等も記録し適切に保管されている。地域食の導入がなかなか難しいが、行事食は取り入れており、地場産物も取り入れ、各季節には季節を感じられるメニューになっている。衛生管理体制を確立し、マニュアルに基づいた衛生管理が出来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	懇談会等で聞いた保護者の要望や意見を、計画の立案等で保育に反映させている。各行事を見てもらい、保護者との共有化を図っている。園児管理システムの中に、意見要望欄があり、記録に残している。要望に応じて経過を記録、システムには意見・要望・苦情の原因考察の欄あり、掘り下げて考察する機会も設けている。ICTツールや日々の会話で、成長を共に喜びあえるように支援している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	7:00~19:00までの保育の稼働時間、7:00~18:00までは保育料金に含まれており、18:00からが別料金の対象としている。保護者の就労状況に応じて安心して子育てできるように支援している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
	日頃から保護者とのコミュニケーションをとり、話しやすく気軽に相談できる関係を構築している。相談対応は園長と主任保育士が丁寧にしており、組織図にも役割責任が明記されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	園児管理システムに被虐待が疑われる児童の記録を記入するページがあり、こどもの言動等からも気付いたことを記録に残していっているので全職員で速やかに情報を共有できている。普段と異なる様子が見られた時には必ず確認を入れ、子どもの心身の状態や家庭での養育状況の把握に努めている。保護者支援の研修にも参加している。通報先の明記、早期発見のためのポイントも記載されており、周知できている。全てがマニュアル化され体制が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	「『保育内容等の職員自己評価』のためのチェックリスト」を用いて、個々の保育士が日々の保育実践や記録等を振り返り、定期的に評価を行っている。今年度から自由記載の欄に自分自身の向上が記載できるように様式を変更した。保育所全体の保育実践の自己評価は自己チェック項目の中から保育所全体の項目に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
	自己評価の結果が保育の改善や専門性の向上に繋がっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。